

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版

使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)●●ビル	階数	地上 8F
建設地	さいたま市南区南浦和2丁目1368-1・10	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、飲食店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年11月6日
敷地面積	718 m <sup>2</sup>	作成者	(有)エムエスデザイン
建築面積	616 m <sup>2</sup>	確認日	2018年11月9日
延床面積	3,286 m <sup>2</sup>	確認者	不動産開発株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 57%  
③上記+②以外の 57%  
④上記+ 57%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 4  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 1  
LR3 敷地外環境: 1

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	省エネルギーや耐久性を考慮して、地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和に努めている。	その他 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	遮音性能の優れた建材を使用し、住戸のプライバシーに配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地周囲に緑地を効果的に配置し、植栽に親しむことができるように配慮している。 防犯性を高めることにより安心して居住できる環境の整備に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b>	高効率機器の採用で設備システムの高効率化を図っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量の低減を図っている。
<b>Q2 サービス性能</b>	耐用年数の永い配管配線材料を採用し、ライフラインである水・電気・通信などの防災対策に配慮している。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	節水器具や省水型機器を採用し、水資源の保護に努めている。分別が容易な施工方法の採用により、資源の大量消費を防ぐようにしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される